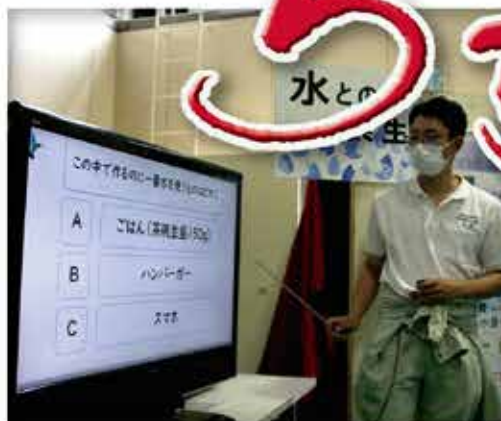
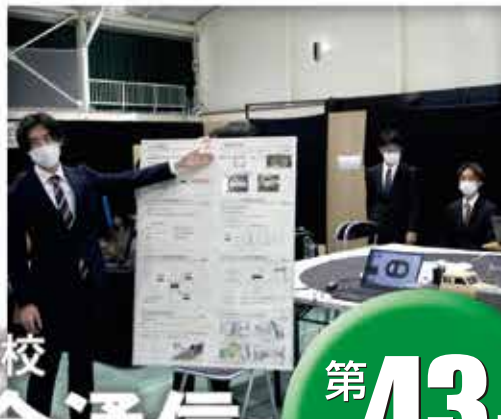




2022年10月22・23日
第58回高専祭

岐阜工業高等専門学校 教育後援会通信

編集：教育後援会事務局

第43号

令和5年2月6日発行

ちから

地区懇談会に参加して



教育後援会副会長

江崎 大志

11月6日に愛知県地区保護者懇談会に教育後援会代表として参加させていただきました。

全体会は校長先生の挨拶から始まり、主な行事や進路、海外大学との交流の再開などの校務関係の報告がありました。

分科会では二つに分かれ、学校生活や部活、進学、就職等について、保護者から先生に質問をする形で行われました。愛知県地区だけに寮生活や通学環境の質問が多かったです。

高専在学中の子供を持つ親として、他の地域や学科の子供たちの様子などを聴く機会は大変貴重で、岐阜高専の幅の広さを改めて実感できたと同時に、直接質問できることで高専生活に対する不安や、疑問が解消される良い機会となりました。

最後に参加いただきました保護者の方、忙しい中ご協力をいただいた先生方にお礼を申し上げます。残念ながら、参加できなかった保護者の方は、次回是非ご参加ください。

教育後援会地区保護者懇談会に参加して

専攻科 保 護 者

地区懇談会に参加しました。日頃から子供とは進路について話をしていますが、人生の中での岐路でもあり後悔が無いよう何か子供に助言など出来ればと思っておりました。先生方から詳しく就職の場合、大学院への進学の場合の説明を頂き、どちらの場合も早く準備に取りかかることや、準備の時期、やり方等、今までの学生さんの経験を基に話をさせて頂きました。こちらからは取り組んでいる研究によって大学院が決まってくることでの質問等しましたが、丁寧に教えて頂きました。また他の保護者の方とも話せる機会でもあり、お互いが悩みや不安を話し、共感したり、助言を頂いたりする場となり、良かったと思います。

地区懇談会に参加して思ったことは、対面で話が出来、日頃から疑問に思っていることなどを話せる良い機会でした。時期的に子供自身にとって人生の岐路になります。自身の思う将来像に近づけるよう、今後も見守っていきたいと思います。

地区保護者懇談会に参加して

3年生 保 護 者

今の3年生はコロナとともに入学し、オンライン授業から始まった高専生活でした。入学式や部活動体験もなく、同級生や先生と対面で話をすることも学内を知ることもないまま親子ともに不安な半年を過ごしました。そして徐々に部活動、課外活動もできるようになり、保護者として、今年初めて地区保護者懇談会に参加させていただきました。そしてそれはとても有意義な大変良い時間となりました。

久しぶりに会う同級生の母、同じ卓球部とのことで声をかけてくださった保護者の方など。色々な方とお話しすることができました。

またM科分科会では「寮生活だから」「娘だけど女子が少なくて」「部活動ばかりしているけれど」「進学のための勉強方法は？」など、皆様が持っている心配、悩み、疑問などに対して先生がパワーポイントを使って詳しく、丁寧にお答え、ご指導くださいました。今回の懇談会で私自身も少し安心でき、また内容を親子で共有したいと思いました。

懇談会に際して運営して下さった役員の方々、先生方ありがとうございました。

また来年も是非参加させていただきたいと思います。



地区懇談会に参加して

5年生 保護者

3年ぶりに開催された地区懇談会に参加させていただきました。

5年生と言うこともあり、出席するか少し迷いましたが、1・2年生と参加させていただいた時に、勉強についていけているのか、部活動との両立ができているのだろうか、進路についてもどのように考えていくべきか、不安だらけでしたが、上級生の保護者の方々の体験談、ご意見、また他の保護者のいろいろな悩み事など、意見交換することができ、よかったと感じたのを思い出しました。

今回は、5年生の保護者の参加が少なかったので、より多くの保護者の方々に参加していただけたら、沢山の体験談、時には失敗談、意見を伺う事ができ、きっと、多くの方々が勇気づけられたことだろうと、思いました。

また、学校でも上級生が下級生をサポートするシステムが、すすめられているそうです。

新型コロナの流行により、人と人の関りが希薄になりがちですが、上級生との関わりを通じ、勉学、進路、部活動など、ちょっとした悩みでも意見交換でき、より充実した学生生活が過ごせることを願います。

地区懇談会に参加して

4年生 保護者

コロナ禍で中止になっていた地区懇談会。今年は3年ぶりに開催されるということもあり、多くの保護者の参加となりました。

先生方からは、行事や学習・研究、進学・進路状況や寮生活など、学校生活についてお話がありました。岐阜高専全体の学校の雰囲気や現在の様子がよく分かりました。また、保護者からの意見にも丁寧に説明がありました。私たちの地域は学校から遠方であるため、ほぼ全員が寮生活を送っています。学校の情報が、子供を通してすぐに保護者まで届かない現状もありますが、今年度導入された「さくら連絡網」の活用が大いに期待されるという話題が上がりました。また、寮の食事についての話題もありました。学生の意見がより反映されるように工夫をしてくださっていることも分かりました。直接先生方からお話を聞いたり、他学年、他学科の保護者の皆さんと交流できたりすることができ、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。



地区懇談会に参加して

4年生 保 護 者

1年次は個人都合で欠席、2、3年次はコロナで中止。4年目で初めて参加させていただきました。
3年半の間、地区委員として何も貢献できず、お恥ずかしい限りでしたが、今回お声掛け頂き、二つ返事でお役を引き受けさせていただきましたが、当日は少し後悔しておりました…あがり症は克服できません…。
無事終了して安堵しております(汗)。

元々、入寮させていただいていることもあり学校との接点は入寮退寮時程度、自主性を尊ぶという言い訳(エゴ)をし、放任主義で関与少なめだったのですが、今回の懇談会で、柴田副校長先生をはじめ学校関係者の方々が、まず「学生ファースト」で様々な事柄を熟考し対応いただいていることを感じ、少し大げさでズレているかもしれませんが「感動」いたしました。

今更ですが、本当にいい学校に入れたなと…。

まだまだ訳の分からない渦のおかげで様々な行動が制限されますが、残り少ない学生生活を本人が十分考動し、本当に楽しく過ごせることを願っております。

参加できてよかったです。ありがとうございました。



芸術鑑賞会を開催

学生に本物の芸術に触れる機会を提供することにより、文化的教養を高め、豊かな情操や感受性が養うことを目的に教育後援会が協力し昨年度から開催されています。

本年は11月11日、音響効果に優れた大野町総合市民センター(ふれあいホール)で谷川賢作さん(ピアノ)と続木力さん(ハーモニカ)の二人組ユニット「パリャーソ」の演奏会が開催されました。

演奏会は1学年と5学年が参加し、約2時間にわたり、ジャズアレンジによる日本の楽曲やトーク、学生との質問コーナーなどで盛り上がっていました。

なお、本演奏会は伊津野真一校長先生のご尽力により開催が実現したことを最後に紹介させていただきます。



演奏会終了後、お礼の言葉を述べる学生

海外インターンシップ報告

先端融合開発専攻1年 池 野 敦 哉

私は、マレーシアのジョホールバルにあるマレーシア工科大学にて5週間のインターンシップに行ってきました。インターンシップでは、手動車椅子を電動化するモジュールの研究を行いました。実習中に分からないことを教授に英語で質問することが難しく、自身の英語力の至らなさを痛感しました。

インターンシップでは、研究だけでなくマラッカやレゴランドなど、様々な場所に連れて行ってもらいました。マラッカはユネスコ世界遺産にも登録されている敵視都市群で、いろんな国の様式の建物や個性的なX画などが多くあり、とても面白い街並みでした。

最後に、今回のインターンシップに参加させていただく機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。



先端融合開発専攻1年 白 田 裕 也

私はフランスのリールにあるIUT A de Lille (技術短期大学)の5週間インターンシップに参加しました。現地の研究室に参加し、マイクロ波で液体の特性を調べる研究をしていました。フランスですが大学内では基本英語で対応していただき、それ以外がフランス語での生活でした。

様々な言語が話されている環境での生活は新鮮で、英語がうまく話せないことにもどかしさを感じ、もっと話せるようになりたいと言語習得に対する意欲が上がりました。

最後に、このような素晴らしい経験をさせていただいたリール大学の先生方と学生の皆様、並びに、海外インターンの支援をしてくださった岐阜高専の先生方に心より感謝を申し上げます。



先端融合開発専攻1年 岩 木 祐 樹

私はシンガポールにあるSingapore Republic Polytechnicという大学で5週間お世話になりました。この大学はシンガポールの中でも最北端に位置しており、隣国のマレーシアへは30分ほどで行ける距離にあります。今年初めてインターンシップ先として受け入れをしていただいた学校で建物自体も新しく、自由な校風でした。学科についても10個ほどあり様々なことを学べる学校です。今回は私の専門分野である情報系の学科でお世話になりました。研究分野としては、自然言語処理や感情分析、OCRなど様々な分野について実際に制作物を作成し学ばせていただきました。また、現地の学生の案内で様々な観光地や現地の食事をいただくことができました。今回のインターンシップを通して自分の英語力の低さを痛感しましたが、それと同時にもっと英語力を身に付けたいという意欲につながりました。このような機会を設けていただいた高専の関係者様、現地の大学関係者様に深く感謝申し上げます。



行事予定

◆主な学校行事予定

1月 9日(月)	開寮 13:00
10日(火)	開講
25日(土)	第53回吹奏楽部定期演奏会(本巣市民文化ホール)
28日(土)~29日(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(東京)(主管:福井)
30日(木)~31日(金)	補講・補習(5年・専攻科)
2月 6日(月)~9日(木)	後期期末試験(専攻科)
8日(水)~14日(火)	後期期末試験(5年)
9日(木)~14日(火)	補講・補習(1~4年)
13日(月)	休講
15日(水)~24日(金)	後期期末試験(1~4年)
21日(火)~28日(火)	特別研究補講(専攻科)
3月 1日(水)~16日(木)	休講(専攻科)
5日(日)	閉寮 11:00
6日(月)~16日(木)	休講(本科)
17日(金)	卒業式(本科),修了式(専攻科)
20日(月)	学年末休業始
31日(金)	学年末休業終,後期終,学年終

編 集 後 記

新型コロナウイルスの発生から3年目を迎えても、いまだ収束が見通せない状況ですが、岐阜高専でも徐々に普段の教育の場を取り戻しつつあります。

廊下を歩く学生の足音・グラウンドにコダマする打球音が聞こえるようになりました。

また、全国高専体育大会等では多くの学生が入賞を果たし岐阜高専の歴史に残るような活躍をみせてくれました。

ですが、油断は禁物です。会員の皆様におかれましては感染防止を第一に「新型コロナウイルス対策」を心がけていただきますようお願いいたします。



図書館に設置された
空気清浄機(Airdog)

発行：岐阜工業高等専門学校・教育後援会事務局

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 TEL.058-323-8752

FAX.058-322-6571

URL : <http://www.gifu-nct.ac.jp/kouenkai/>

MAIL : gnctk@iaa.itkeeper.ne.jp